

公募等実施事項報告書（資金分配団体）

事業名: 新型コロナ禍における地域包摂型社会の構築
資金分配団体: 公益財団法人佐賀未来創造基金
実行団体数: 福祉分野：5 団体 外国人分野：3 団体
実施時期: 2020年8月～2022年3月
事業対象地域: 佐賀県・長崎県
事業対象者: 福祉分野（介護・医療・障がい者施設）、外国人分野（労働者および家族）

Version 1.0

日付： 2021年4月6日

I. 公募～選定の結果

単位：件

選定予定件数-計画	申請事業数-実数	申請団体数-実数	選定事業数-実数	選定団体数-実数
2	3	3	2	2

II. 公募プロセス/実行団体の募集

募集の告知期間 ※告知開始～募集受付開始 (単位：日)	募集の受付期間 (単位：日)	募集の告知媒体の種類							
15	15	<input checked="" type="checkbox"/>	HP	<input checked="" type="checkbox"/>	SNS	<input type="checkbox"/>	チラシ	<input checked="" type="checkbox"/>	関連組織を通じた広報
		<input checked="" type="checkbox"/>	プレスリリース	<input type="checkbox"/>	その他	具体的な方法 ()			
実行団体の募集で工夫したこと、よかったこと ・ 第一期で申請を断念した団体を中心にお声がけを実施した。 ・ 第一期で採択をうけた団体からの紹介を強化した。 ・ 再度、各県の担当課と連携した県内への情報告知と、メディアを通じた情報提供を実施した点									
実行団体の募集の課題 ・ 前回に続き、実行団体の事務レベルがたらず、申請書類への対応や採択後の運営体制への不安より、申請をみおくれた団体がいた点									
公募に申請した団体の情報を、募集終了時に Web サイト上で公表しましたか。対応状況の詳細と合わせて記載ください。									
はい	https://saga-mirai.jp/kyumin_corona/#conso								

III.公募プロセス/申請団体の審査

単位：人

審査委員の人数 (合計)	内訳:外部委員	
	内訳:外部委員	内訳:内部委員
5	5	0

審査の過程で第三者の意見聴取等、専門的な意見をどのように取り入れましたか。

- ・ 前回参加できなかった福祉分野の専門である佐賀県の福祉課に参加していただき、前回以上に専門性を高めた審査体制を準備した
- ・ 前回同様、同時に、各県のNPO専門部門の方をまねき、県内における専門性も高めた

審査を行う者の利益相反の防止措置はどのように行いましたか。

事前に、資金分配団体・審査員との兼務の確認、それぞれの実行団体の事業計画書記載の、団体同志の確認を防止措置として講じた

申請団体のコンプライアンス/ガバナンス体制の確認をどのように行いましたか。

規定類の公開状態をWebと相対で確認し、不足する部分について、採択後速やかに整備する点も確認をした。

申請団体との面談(必要に応じて現地調査)はどのように実施しましたか。

コロナ禍をふまえて、申請前後に、オンラインを中心に個別面談を実施した

申請団体の審査で工夫したこと、よかったこと

申請提出時は、コンソーシアム団体内部での確認・質問をし、また、審査員については、審査会前に事前審査表を配布し、事前に申請内容について確認をし、申請内容の相互理解を深めた

申請団体の審査で感じた課題

緊急という性質より、早期に内定をだせるプロセスで構築をした結果、実行団体の事業計画の全てが、伝わったかどうか課題であった。

IV. 公募の設計/申請団体数・実行団体の事業内容

(申請団体数)	
実行団体選定予定件数に対して申請団体数は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定通り	従前からの掘り起こしと、行政やメディアを通じた周知の結果。
(申請団体の事業内容)	
設定した社会課題の解決に対して、選定した実行団体の事業内容(目標、対象者、地域、活動、金額、規模等)は想定通りでしたか。その要因と合わせてご記入ください。	
想定と異なっていた	概ねは、当初計画した内容と相違はなかったが、特に福祉分野については、実行団体の事業内容や事務体制が、申請内容と相違もあり、想定していた範囲よりも申請は少なかったと考えている。緊急性という点より、時間の短さもその要因となったと想定しております

V. 選定結果の通知及び公開の状況

(選定結果の通知)	
実行団体に選定しなかった申請団体に対し、その理由と改善すべき点を示しましたか。	
はい	
(選定結果の公開)	
選定結果について、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	https://saga-mirai.jp/kyumin_corona/#conso
(規定類の公開)	
ガバナンス・コンプライアンス体制に関する規程類を、webサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	https://saga-mirai.jp/%e6%83%85%e5%a0%b1%e9%96%8b%e7%a4%ba/
(人件費水準の公開)	
経費に人件費が含まれる場合、当該人件費の水準をwebサイト上で広く一般に公開しましたか。	
はい	https://saga-mirai.jp/%e6%83%85%e5%a0%b1%e9%96%8b%e7%a4%ba/

VI. 公募の過程に伴う事業再検討結果（事前評価）

課題の分析（ニーズの分析）

課題の妥当性：助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分
事業対象の妥当性：助成申請時に想定していた課題の分析に対し、変更が発生した部分

事業設計の分析（セオリーの分析）

事業設定の妥当性：助成申請時に想定していた事業設定に対し、変更が発生した部分

見直し後の事業目標 及び アウトプット指標（実施・到達状況の目安とする指標）/把握方法/目標値/達成時期

今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態

見直し後の事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 及び その目安とする指標（※指標については設定可能であれば、で構いません）

今回の事業実行を通じた目標	目標値/目標状態

VII. 広報実績（公募関連以外）

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	8月12日 佐賀新聞 https://www.saga-s.co.jp/articles/-/560158
広報制作物等	無	
報告書等	無	

VIII. ガバナンス・コンプライアンスの確認

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	ヘルプライン窓口を設置している
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。	はい	
6. 実行団体に規程類の整備について説明をしましたか。	はい	